

令和4年度（2022年度）

事業報告書

目次

1. 事業概要	1
2. 会議等開催状況	2
3. 地区福祉委員会活動	6
4. コミュニティソーシャルワーカー	13
5. ボランティアセンター事業	17
6. 福祉教育	23
7. 組織構成会員、賛助会費（地域ふくし協力金）	28
8. 善意銀行事業	30
9. 災害救援対策事業	32
10. 広域型生活支援コーディネーター	34
11. 日常生活自立支援事業	37
12. 法人後見事業	38
13. 生活困窮者自立支援事業	39
14. 福祉ボランティア基金助成金交付事業	40
15. 心配ごと相談	41
16. 生活福祉資金貸付事業	42
17. 吹田市介護支援サポーター事業	43
18. 法外援護事業	45
19. 広報活動	46
20. コロナ禍での取り組み	47
21. その他の活動	48



1. 事業概要

吹田市社会福祉協議会（以下、「吹社協」）の中長期の行動計画である第4次地域福祉活動計画は「共に出会い、共に支え、共にいきる みんなでつむぐストーリー」をスローガンとした5か年計画です。令和4年度（2022年度）は、第4次地域福祉活動計画の中間年にあたり、地域福祉活動を実践されている33地区福祉委員会ならびに関連7団体との懇談会を実施しました。懇談会では、コロナ禍での取り組み状況や、今後の展望及び吹社協に対する期待や提言等を伺いました。地区福祉委員会との懇談会の実施にあたっては、施設連絡会の加盟施設職員にも参加協力いただき、さらに連携、協働して地域福祉推進に取り組むための有意義な機会となりました。

また、地域共生社会の実現を目指し、地区福祉委員や民生・児童委員、関係機関を対象に地域共生フォーラムを開催し、外部講師を招いて「ひとりぼっちをつくらないために」と題して講演いただきました。講演後は必要とされる居場所をテーマにパネルディスカッションを行い、学校でも職場でも自宅でもない第3の居場所づくりの必要性等について、周知啓発しました。

高齢者の生活支援体制づくりに取り組む生活支援コーディネーターと、生活・福祉の相談員であるコミュニティソーシャルワーカー（以下、「CSW」）が連携して、地域で高齢者生活支援について検討する場として「地域検討会」を開催しました。地域検討会では、地区福祉委員会等の地域団体や地域包括支援センター、介護保険事業者等と共に、参画団体の強みを活かした取り組み（体操等の外出機会の創出、多世代交流の場、スマホ講座の開催、買物支援のマップ化等）を検討、企画、実施しました。

吹社協は大規模災害発生時に、吹田市からの要請を受けて、災害ボランティアセンターを開設、運営します。災害時に連携して支援活動できるように、吹田市内3つのライオンズクラブ、大阪よどがわ市民生活協同組合と災害支援に関する協定を締結しました。平時から災害支援団体やボランティアグループ等がつながる機会として「吹田災害支援ネットワーク」を開催し、情報交換等を実施しました。吹社協として、災害時にも継続した事業運営ができるようBCP（事業継続計画）の策定に取り組みました。

ボランティアセンターでは、ボランティア同士のネットワーク強化やボランティア活動への参加のきっかけづくりとして、吹田市ボランティア連絡会と共に、第1回ボランティアセンターまつりを開催し、多くの来場者にボランティア体験していただきました。

（地域福祉係）

施設連絡会等と連携して、コロナ禍で生活に影響が出ている大学生等を対象に実施している食料支援を、高校生にも拡大して取り組みました。また、学生同士の交流の機会として、学生の有志メンバーと共に学生交流会を企画し、3回実施しました。

（生活困窮者自立支援係）

具体的な支援事例を紹介する活動事例集を発行し、関係機関に配布しました。また、活動事例集をもとに、生活困窮者自立支援センター取り組み報告会を開催し、広く事業の周知を図りました。

（日常生活自立支援係）

地域における権利擁護支援の仕組みづくりを考える機会として、権利擁護支援セミナーを開催しました。また、本事業を紹介するための動画を作成し、動画配信しました。

（庶務係）

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響による失業者や所得減少者を対象にした特例貸付の相談、申請受付を令和4年9月末まで取り組みました。その後、貸付の償還についての相談支援を行いました。

2. 会議等開催状況

(1) 理事会

開催日	場所	案件
令和4年6月7日(火)	保健センター	1.令和3年度事業報告及び決算(案)について 2.監事候補者について 3.任用職員の規則改正(案)について 4.組織構成会員の退会について 5.災害協定の締結について 6.評議員会の開催について その他(報告事項)
令和4年8月31日(水)	総合福祉会館	1.令和4年度社会福祉事業会計第1次補正予算(案)について 2.小地域ネットワーク活動事業助成金の交付要綱(案)について 3.組織構成会員の入退会について 4.評議員会の開催について その他(報告事項)
令和4年11月25日(金)	保健センター	1.令和4年度社会福祉事業会計第2次補正予算(案)について 2.総務部会の提案について 3.定款変更(案)について 4.理事・監事選任に関する規準の改正(案)について 5.小地域ネットワーク活動事業助成金交付に係る事務取扱要領(案)について 6.大阪よどがわ市民生活協同組合との協定について 7.評議員会の開催について その他(報告事項)
令和5年3月14日(火)	総合福祉会館	1.令和4年度社会福祉事業会計第3次補正予算(案)について 2.令和5年度吹田市社会福祉協議会事業計画及び予算(案)について 3.吹田市社会福祉協議会諸規則の改正(案)について 4.吹田市社会福祉協議会理事の推薦団体について 5.団体役員賠償責任保険について 6.評議員会の開催について その他(報告事項)

(2) 評議員会

開催日	場所	案件
令和4年6月22日(水)	保健センター	1.令和3年度事業報告及び決算(案)について 2.監事の選任(案)について その他(報告事項)
令和4年9月16日(金)	保健センター	1.令和4年度社会福祉事業会計第1次補正予算(案)について その他(報告事項)

令和4年12月21日(水)	保健センター	1.令和4年度社会福祉事業会計第2次補正予算(案)について 2.定款変更(案)について その他(報告事項)
令和5年3月29日(水)	保健センター	1.令和4年度社会福祉事業会計第3次補正予算(案)について 2.令和5年度吹田市社会福祉協議会事業計画及び予算(案)について その他(報告事項)

(3) 三役会、部会

開催日	会議名称	場所	案件
令和4年4月21日(木)	三役会	総合福祉会館	1.関係機関委員会等の役割分担について 2.福祉総務室との協議について 3.小地域ネットワーク活動事業助成金について 4.ライオンズクラブとの協定書について 5.任用職員の規則改正について 6.誓約書について 7.今後の日程について その他
令和4年5月26日(木)	三役会	総合福祉会館	1.理事会について 2.関係機関委員会等の役割分担について 3.今後の日程について その他
令和4年6月13日(月)	三役会	総合福祉会館	1.小地域ネットワーク活動事業助成金について 2.災害協定締結式(案)について 3.第4次地域福祉活動計画中間年の懇談会について 4.今後の日程について その他
令和4年7月14日(木)	総務部会	保健センター	1.部会長、副部会長の選任について 2.第4次地域福祉活動計画の進捗状況について 3.理事、監事等の選任基準について その他
令和4年7月21日(木)	三役会	総合福祉会館	1.小地域ネットワーク活動事業助成金について 2.第4次地域福祉活動計画中間年の懇談会について 3.関係機関委員会等について 4.ゆうちょ銀行の振込みについて 5.今後の日程について その他

令和4年7月25日(月)	財政部会	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 1.令和4年度共同募金運動について 2.令和3年度地域ふくし協力金最終実績について 3.令和4年度地域ふくし協力金中間報告について 4.小地域ネットワーク活動事業助成金の交付要綱(案)について その他
令和4年8月18日(木)	三役会	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1.小地域ネットワーク活動事業助成金の交付要綱(案)について 2.令和4年度補正予算(案)について 3.組織構成会員の入退会について 4.第4次計画中間年の懇談会について 5.ゆうちょ銀行の振込みについて 6.今後の日程について その他
令和4年9月15日(木)	三役会	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1.第4次計画中間年の懇談会について 2.共同募金の街頭激励コースについて 3.令和4年度福祉大会(案)について 4.今後の日程について その他
令和4年10月26日(水)	総務部会	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1.理事、監事の選任基準について
令和4年10月27日(木)	三役会	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1.総務部会について 2.令和4年度福祉大会について 3.小地域ネットワーク活動助成金の内規(案)について 4.福祉総務室との協議について 5.今後の日程について その他
令和4年11月15日(火)	三役会	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 1.令和4年度福祉大会について 2.令和4年度第2次補正予算(案)について 3.総務部会の提案について 4.大阪よどがわ市民生活協同組合との協定について 5.理事会について 6.今後の日程について その他
令和4年12月15日(木)	三役会	さんくす1番館	<ul style="list-style-type: none"> 1.令和4年度福祉大会について 2.事務監査について 3.生活困窮者自立支援事業委託:評価について 4.三役会の内規について 5.居住支援協議会について 6.今後の日程について その他

令和5年1月19日(木)	三役会	総合福祉会館	1.居住支援協議会について 2.事務監査について 3.ウクライナの支援金について 4.今後の日程について その他
令和5年1月23日(月)	財政部会	総合福祉会館	1.令和4年度共同募金運動について 2.令和4年度地域ふくし協力金中間報告について 3.令和5年度地域ふくし協力金募集資材(案)について その他
令和5年2月16日(木)	三役会	総合福祉会館	1.令和4年度社会福祉事業会計第4次補正予算(案)について 2.令和5年度予算(案)について 3.令和5年度事業計画(案)について 4.今後の日程について その他
令和5年3月7日(火)	三役会	総合福祉会館	1.理事会について 2.今後の日程について その他
令和5年3月17日(金)	財政部会	総合福祉会館	1.令和5年度地区助成金(地域ふくし協力金、共同募金)の定額配分について

(4) 令和4年度福祉大会

開催日	場所	内容
令和5年1月28日(土)	メイシアター中ホール	第1部：公演 消防音楽隊による楽器演奏 第2部：式典 表彰状・感謝状の贈呈等

3. 地区福祉委員会活動

(1) 小地域ネットワーク活動などの実施

新型コロナウイルス感染拡大防止で活動を自粛していた「グループ援助活動」である、いきいきサロンや子育てサロン等を徐々に再開しました。また、コロナ禍で重点的に取り組んできた見守り声かけ活動などの「個別援助活動」も継続して実施するなど、住民同士のつながりづくりを行いました。

特に、ひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい昼食会」では福祉バスによる管外昼食会の開催や、地域拠点でお弁当などを配布する「ふれあい外出配食」を昨年度に引き続き実施し、高齢者の外出や他者との交流の機会を創出しました。

また、ひとり暮らし高齢者が地域で安心して暮らせるように、日頃の見守り活動の延長で、福祉施設などと連携・協働して取り組む「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」では、実際に鍵を使用して自宅に安否確認をした事例がありました。同事業の重要性を感じてシミュレーション訓練を複数地区で実施し、13地区で取り組まれています。

※「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」は申込者の希望により、協力施設でご自宅の鍵を預かり、見守り声かけ活動等で緊急時と判断した場合は、お預かりしている鍵を使用して、安否確認を行う取り組みです。

(2) 地区福祉委員会 個別援助活動

33地区福祉委員会では各地区福祉委員が把握した対象者に対し、見守り声かけ活動や配食サービスなどを通して、多種多様な方法で個別援助活動を行いました。

配食サービス

地区名	実施回数	対象者（人）	延べ利用者（人）
佐井寺	1	10	10
五月が丘	12	68	401
山一	3	85	249
西山田	12	26	263
令和4年度合計	28	189	923

令和3年度合計	27	350	1,371
---------	----	-----	-------

(3) 地区福祉委員会 グループ援助活動

地区名	いきいきサロン			ふれあい昼食会 (ふれあい外出配食含む)			子育てサロン			世代間交流			障がい者(児) 交流事業			その他		
	実施回数	総参加者延べ人数		実施回数	総参加者延べ人数		実施回数	総参加者延べ人数		実施回数	総参加者延べ人数		実施回数	総参加者延べ人数		実施回数	総参加者延べ人数	
		参加者	地区福祉委員		参加者	地区福祉委員		参加者	地区福祉委員		参加者	地区福祉委員		参加者	地区福祉委員		参加者	地区福祉委員
吹一	5	101	41	5	240	46	3	12	6	1	45	9	-	-	-	-	-	-
吹二	-	-	-	7	233	98	2	47	19	1	68	14	3	21	10	-	-	-
吹三	1	13	4	6	310	21	8	375	153	-	-	-	1	550	10	2	19	19
吹六	8	344	108	50	781	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	-	-	-	12	875	72	33	181	156	1	51	1	-	-	-	12	176	100
吹南	10	240	30	10	431	78	-	-	-	2	393	48	-	-	-	1	300	70
山手	7	125	54	5	366	60	10	341	69	5	238	54	-	-	-	2	18	20
千一	15	162	128	16	636	61	9	135	54	-	-	-	3	67	11	15	188	12
片山	12	119	44	2	125	30	9	136	49	2	1,600	20	-	-	-	-	-	-
千二	6	76	23	12	815	39	12	166	77	-	-	-	1	67	1	-	-	-
五月が丘	22	323	185	6	311	69	10	220	64	2	158	14	1	97	8	3	132	39
佐井寺	5	60	25	8	250	60	7	113	54	3	17	16	-	-	-	-	-	-
千三	9	71	96	46	1,080	157	8	159	61	-	-	-	-	-	-	114	2,151	601
千里新田	-	-	-	6	273	45	11	200	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岸部	70	955	210	12	545	71	7	46	46	2	2,160	55	-	-	-	-	-	-
豊一	23	212	62	4	296	75	-	-	-	3	174	6	-	-	-	3	55	11
豊津西	42	254	94	1	88	32	-	-	-	3	175	3	-	-	-	-	-	-
山一	-	-	-	-	-	-	4	55	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山二	10	132	54	5	188	40	20	263	91	3	390	18	-	-	-	-	-	-
南山田	27	386	208	-	-	-	10	135	81	-	-	-	-	-	-	21	217	166
東山田	13	243	161	6	180	53	20	314	204	-	-	-	-	-	-	17	239	263
西山田	52	711	463	3	102	16	13	127	74	1	5	5	2	112	12	-	-	-
北山田	-	-	-	4	159	28	-	-	-	2	265	25	-	-	-	9	518	62
山三	5	47	35	6	279	69	11	250	106	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山五	11	174	90	8	252	32	10	37	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐竹台	10	129	35	18	1,171	102	6	51	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高野台	5	154	29	8	597	81	6	189	22	-	-	-	-	-	-	23	250	68
津雲台	3	77	33	10	509	118	4	170	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桃山台	-	-	-	5	764	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	441	37
竹見台	11	87	79	7	392	81	-	-	-	2	300	6	-	-	-	1	7	9
古江台	9	122	78	32	565	127	8	100	55	3	310	29	-	-	-	1	15	5
藤白台	-	-	-	9	295	50	6	218	41	1	118	2	-	-	-	2	2,300	29
青山台	5	88	21	6	377	86	10	313	60	5	422	17	4	157	17	1	150	12
令和4年度合計	396	5,405	2,390	335	13,485	2,078	257	4,353	1,722	42	6,889	342	15	1,071	69	231	7,176	1,523

※令和4年度総計 実施回数:1,276回 参加者延べ人数:38,379人 参加地区福祉委員延べ人数:8,124人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループ援助活動を自粛した時期がありました。

※取り組みがない場合は「-」で表記しています。

令和3年度合計	237	3,549	1,129	260	9,750	1,562	74	1,474	578	36	3,942	200	10	152	39	139	3,002	817
---------	-----	-------	-------	-----	-------	-------	----	-------	-----	----	-------	-----	----	-----	----	-----	-------	-----

※令和3年度総計 実施回数:756回 参加者延べ人数:21,869人 参加地区福祉委員延べ人数:4,325人

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループ援助活動を自粛した時期がありました。

(4) 地区福祉委員長会議の開催

7月の委員長会議は各ブロック単位で開催し、コロナ禍の地域福祉活動・これからの地域福祉活動について意見交換の場を持ちました。

開催状況

開催日	場所	案件
令和4年5月12日(木)	保健センター	報告案件 1.吹田市社会福祉協議会 令和4年度事業計画・予算について 2.令和4年度地域ふくし協力金について 3.共同募金配分金について 案内・依頼案件 4.地区福祉委員会との意見交換会について 5.令和4年度地区福祉委員新任研修について 6.スマートフォン講座の開催について
令和4年7月 ※各ブロック単位で開催 (10P参照)	※各ブロック 拠点など	報告案件 1.吹田市社会福祉協議会令和3年度事業報告・決算について 2.令和4年度地域ふくし協力金 中間報告について 3.小地域ネットワーク活動事業助成金について 依頼案件 4.令和4年度赤い羽根共同募金運動について 案内案件 5.生活困窮者支援の取り組み報告会について その他 6.ボランティア体験プログラムについて 7.障がい者事業所授産品リストについて 意見交換 8.コロナ禍の地域福祉活動・これからの地域福祉活動について
令和4年9月7日(水)	保健センター	報告案件 1.令和4年度地域ふくし協力金 中間報告 案内・依頼案件 2.令和4年度共同募金運動について 3.令和4年度地区福祉委員長管外研修について 4.地域共生フォーラムについて 5.令和4年度吹田市社会福祉協議会福祉大会の表彰推薦について 6.吹田市社会福祉協議会と地区福祉委員会ポスターについて 7.吹田市社会福祉協議会施設連絡会地域貢献リストについて
令和4年11月29日(火)	保健センター	報告案件 1.令和4年度赤い羽根共同募金 中間報告について 2.令和4年度地域ふくし協力金 中間報告について 3.研修報告 依頼案件 4.令和4年度吹田市社会福祉協議会福祉大会について

		<p>5.地域福祉市民フォーラムについて 案内案件</p> <p>6.令和4年度小地域ネットワーク活動リーダー研修について その他</p> <p>7.吹田市社会福祉協議会と地区福祉委員会ポスター</p> <p>8.小地域ネットワーク活動助成金について</p>
令和5年1月18日(水)	保健センター	<p>報告案件</p> <p>1.令和4年度赤い羽根共同募金 報告</p> <p>2.令和4年度地域ふくし協力金 中間報告</p> <p>3.令和5年度地域ふくし協力金 募集について</p> <p>4.災害救援対策会議 報告</p> <p>案内・依頼案件</p> <p>5.地区福祉委員会助成金について</p> <p>6.令和5年度福祉バスの利用について</p> <p>7.会議・行事・研修会の案内</p> <p>8.令和5年度すいた子育て仲間づくり情報「きらきら」について</p> <p>9.すいた社協だより発行および配送場所について</p> <p>その他</p> <p>10.社協だより掲示版アンケートについて</p> <p>11.すいた年輪サポートナビ情報掲載について(吹田市高齢福祉室)</p>
令和5年3月23日(木)	保健センター	<p>報告案件</p> <p>1.令和4年度地域ふくし協力金(賛助会費) 中間報告</p> <p>2.研修会等の報告について</p> <p>3.令和5年度すいた子育て仲間づくり情報「きらきら」について</p> <p>4.令和5年度地区助成金(定額配分)について</p> <p>案内・依頼案件</p> <p>5.令和4年度地区福祉委員会活動・小地域ネットワーク活動事業 報告および精算について</p> <p>6.令和5年度 地区助成金の申請書および各提出書類について</p> <p>7.地区福祉委員会に関する説明会について</p> <p>8.理事の推薦について</p> <p>その他</p> <p>9.夢のファミリーフェスタについて(吹田市福祉総務室)</p> <p>10.すいた年輪サポートナビについて(吹田市高齢福祉室)</p>

※令和4年7月 地区福祉委員長会議（ブロック別）

開催日	ブロック	場所
令和4年7月6日(水)	千里山・佐井寺	千二地区公民館
令和4年7月7日(木)	片山・岸部	総合福祉会館
令和4年7月12日(火)	千里ニュータウン	千里市民センター
令和4年7月13日(水)	JR以南	内本町コミュニティセンター
令和4年7月15日(金)	豊津・江坂・南吹田	豊一地区公民館
令和4年7月20日(水)	山田・千里丘	亥の子谷コミュニティセンター

(5) 地区福祉委員会を対象にした研修会など

○地区福祉委員研修会

新任福祉委員を含めた地区福祉委員を対象に、吹社協や地区福祉委員会活動について、概要や取り組み内容等を説明する研修会を、概ねブロック単位で実施しました。

開催状況

開催日	場所	参加地区	参加者数
令和4年6月9日(木)	岸部市民センター	片山、山手、千一、岸部	13
令和4年6月13日(月)	亥の子谷コミュニティセンター	五月が丘、山一、山二、山三、山五、北山田、南山田、東山田	19
令和4年6月26日(日)	コミュニティスペース	西山田	30
令和4年6月27日(月)	千里新田地区公民館	千二、佐井寺、千里新田	3
令和4年7月1日(金)	千里市民センター	佐竹台、高野台、津雲台、桃山台、竹見台、藤白台、青山台	11
令和4年7月1日(金)	内本町コミュニティセンター	吹一、吹六、吹三、東	8
令和4年7月7日(木)	総合福祉会館	吹二、吹南、豊一、豊津西	9
令和4年10月22日(土)	津雲台市民ホール	津雲台	19
令和5年3月5日(日)	古江台市民ホール	古江台	13

○地区福祉委員長研修

寝屋川市社会福祉協議会の『緊急時安否確認(かぎ預かり)事業』の取組報告や意見交流を通して、今後の地区福祉委員会活動に活かす機会として開催しました。

開催日	場所	講師	参加者
令和4年10月27日(木)	寝屋川市社会福祉協議会	寝屋川市社会福祉協議会 事務局長 濱吉 信彰 氏 啓明校区福祉委員会 委員長 乾 光江 氏 北崎 修 氏	地区福祉 委員長等 24地区28人

○地域共生フォーラム

「居場所づくり」の充実を目指して、地区福祉委員会をはじめとする地域住民等を対象に開催しました。「居場所」にあらゆる世代が気軽に参加し、参加者(特に生きづらさを抱えた方)が人とつながることを通じて自己肯定感を高め、社会とつながるきっかけを創出できることを目指します。

開催日	場所	講師等	参加者
令和4年11月22日(火)	メイシアター	講演「ひとりぼっちをつくらな いために」 大阪教育大学 特任教授 新崎 国広 氏 NPO 法人ここ 理事長 三科 元明 氏 青少年活動サポートプラザ 主査 尾崎 聡葉 氏 西山田地区福祉委員会 井戸端倶楽部代表 南城 多恵子 氏 吹社協 CSW	福祉委員 45 人 民生・児童委員 22 人 関係機関・ボラ ンティアグルー プ 33 人 計 100 人

○小地域ネットワーク活動リーダー研修会

コロナ禍における特徴的な取り組みについて学ぶ機会として、大阪府社協主催の小地域ネットワーク活動リーダー研修会が動画配信で実施されました。開催方法については、会場参集とオンライン視聴で実施しました。

開催日	場所等	講師等	参加者
令和5年3月3日(金)	総合福祉会館 オンライン	講演「消防本部の救急隊員が参画 する地域包括ケアネットワーク」 同志社大学 教授 野村 裕美 氏 (実践報告) ・河内長野市「移動難民を救う。 福祉施設と協働の移動支援」 ・熊取町「いろんなゲストで活動 が盛り上がる！多機関協働のグル ープ支援」 ・高石市「誰も取り残さない。住 民×専門職のプッシュ型見守り訪 問」	25 地区 51 人

4. コミュニティソーシャルワーカー

吹田市から委託を受けているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、地区福祉委員や民生・児童委員との連携をさらに深めながら、より地域に密着した相談支援活動を行いました。

令和4年度（2022年度）についても、毎月定例でCSW会議を開催し、個別事例や地域支援について検討、協議しました。その他、吹田しあわせネットワークCSW会議（年6回）、吹田市子ども食堂ネットワーク会議、行政機関の各種会議に参加するなど、関係機関との連携強化に努めました。

また、大学生や高校生、ひとり親世帯への食料支援など、多様な団体と共に、地域住民の孤独・孤立を防ぐ取り組みを進めました。

さらに、高齢者を対象にスマートフォンなどのオンラインツールに実際に触れ、使い方を学ぶ講座を開催しました。開催にあたっては、地区福祉委員会や福祉施設職員だけでなく、大学生などの協力を得て、13地区延べ19回開催しました。

CSWの広報周知については「すいた社協だより」や「CSW活動事例・報告集」などを通して、関係機関や地域住民へ周知しました。

(1) 相談件数及び内容

地区		JR以南		片山・岸部		豊津・江坂・南吹田		千里山・佐井寺		山田・千里丘		千里NT		合計	
		延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数
受付方法	住民より直接相談	86	14	56	33	155	43	290	51	95	43	126	62	808	246
	地区福祉委員会より	1	0	0	0	5	3	11	5	7	4	8	7	32	19
	ボランティアより	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボランティアセンターより	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	民生・児童委員より	32	6	29	18	24	9	7	3	78	29	13	10	183	75
	当事者団体より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NPO・市民活動団体より	2	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	5	2
	行政・専門機関より	52	7	46	19	72	27	25	14	122	60	59	27	376	154
	施設・サービス事業者より	6	2	2	1	1	1	3	3	5	4	11	5	28	16
	その他	8	2	0	0	1	1	0	0	2	2	7	3	18	8
合計		187	31	134	72	260	85	336	76	310	143	224	114	1,451	521

地区		JR以南		片山・岸部		豊津・江坂・南吹田		千里山・佐井寺		山田・千里丘		千里NT		合計	
		延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数
相談内容 (対象者別)	高齢者	48	16	79	47	101	40	186	45	101	61	125	76	640	285
	うち1人暮らし高齢者	29	8	56	37	75	29	175	40	88	50	101	64	524	228
	うち高齢者のみの世帯	19	8	23	10	26	11	11	5	13	11	24	12	116	57
	障がい者	61	2	41	15	29	3	85	5	63	17	29	11	308	53
	うち身体障がい者	2	0	3	1	3	1	12	1	4	2	4	2	28	7
	うち知的障がい者	17	0	0	0	0	0	4	0	1	0	6	1	28	1
	うち精神障がい者	42	2	38	14	26	2	69	4	58	15	19	8	252	45
	子育て中の親子	0	0	1	1	6	3	8	3	9	3	11	4	35	14
	一人親家庭の親子	1	1	3	3	7	0	0	0	16	7	1	0	28	11
	青少年	6	0	5	5	34	12	18	6	31	15	33	10	127	48
	DV被害者	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2
	ホームレス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人(中国帰国者を含む)	0	0	0	0	2	1	0	0	36	11	1	1	39	13
	その他	71	12	10	7	82	26	39	17	62	31	25	14	289	107
合計		187	31	139	78	261	85	336	76	320	147	225	116	1,468	533
相談内容 (内容別)	福祉制度・サービスに関する相談	37	7	40	23	27	13	35	7	66	33	21	14	226	97
	生活に関する身近な相談	94	18	78	44	166	43	211	40	65	30	114	63	728	238
	健康・医療に関する相談	13	0	19	7	18	4	3	0	36	14	8	5	97	30
	生活費に関する相談	31	7	3	2	28	6	22	5	44	23	29	13	157	56
	就労に関する相談	8	1	1	1	2	2	0	0	8	2	1	0	20	6
	財産管理・権利擁護に関する相談	7	0	0	0	1	1	2	1	10	4	4	1	24	7
	消費者被害に関する相談	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
	多重債務に関する相談	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	6	2
	DV・虐待に関する相談	3	2	1	1	0	0	8	1	4	2	7	3	23	9
	地域福祉・ボランティア活動に関する相談	3	1	2	2	4	1	28	13	9	4	58	27	104	48
	住宅に関する相談	8	1	2	1	2	2	23	1	16	9	11	2	62	16
	子育て・子どもの教育に関する相談	5	0	8	8	22	13	15	5	55	23	6	3	111	52
	その他	1	1	1	1	3	1	5	3	20	7	0	0	30	13
合計		215	40	155	90	273	86	352	76	335	153	260	131	1,590	576

※「延べ回数」は、新規ケース及び継続ケースに対し、何らかの支援(連絡調整を含む。)を行った回数。
「件数」は、新規の相談や関わっている相談者からの新たな内容の相談件数。

(2) 対処内容

地区	JR以南		片山・岸部		豊津・江坂・南吹田		千里山・佐井寺		山田・千里丘		千里NT		合計	
	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数	延べ回数	件数
助言や情報提供など	113	18	125	70	113	30	263	47	52	21	126	57	792	243
地域活動による支援	38	13	45	31	31	16	71	24	77	42	69	46	331	172
うち地区福祉委員会に連携	7	1	11	11	4	1	22	12	30	17	28	19	102	61
うち民生・児童委員に連携	24	9	24	13	8	5	15	3	13	7	6	4	90	41
うちボランティアセンターに連携	5	2	6	4	17	10	30	7	20	11	21	10	99	44
うちその他	2	1	4	3	2	0	4	2	14	7	14	13	40	26
市や専門機関と連携	136	27	98	58	95	44	65	8	188	84	154	61	736	282
うち地域包括支援センター	47	13	43	25	24	15	24	4	50	31	49	25	237	113
うち保健センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち市その他	10	4	29	14	26	7	11	3	87	30	35	11	198	69
うち専門機関	79	10	26	19	45	22	30	1	51	23	70	25	301	100
CSWによる直接支援	23	3	72	43	129	27	3	0	36	17	19	12	282	102
その他	1	0	2	1	1	1	0	0	1	0	4	3	9	5
合計	311	61	342	203	369	118	402	79	354	164	372	179	2,150	804

※「延べ回数」は、新規ケース及び継続ケースに対し、何らかの支援(連絡調整を含む。)を行った回数。
「件数」は、新規の相談や関わっている相談者からの新たな内容の相談件数。

(3) 相談者数

(単位:人)

地区	JR以南	片山・岸部	豊津・江坂・南吹田	千里山・佐井寺	山田・千里丘	千里NT	合計
合計	113	79	205	148	208	178	931

(4) CSW スーパーバイズ研修

CSW のスキルアップのために、ひきこもり支援や重層的支援体制整備事業などの外部研修に参加したほか、佛教大学専門職キャリアサポートセンター講師の金田 喜弘氏を外部講師に招いて、年3回研修会を実施しました。

開催日	場所	主な内容など	参加者
令和4年9月16日(金)	総合福祉会館	CSW に求められている役割について	11人
令和4年11月18日(金)	総合福祉会館	ファシリテーションについて	8人
令和5年1月27日(金)	総合福祉会館	複雑化した個別相談の事例について	10人

(5) 関係機関等との情報交換

随時、ブロックごとで地域包括支援センターと情報交換の場を設けているほか、さらに連携協働できるよう関係機関と情報交換しました。

開催日	関係機関等
令和4年5月10日(火)	NPO 法人 WAIKI
令和4年5月18日(水)	コープこうべ
令和4年6月30日(木)	ラコルタ 青少年活動サポートプラザ
令和4年7月20日(水)	スクールソーシャルワーカー
令和5年2月27日(月)	生活困窮者自立支援センター

(6) 地域福祉問題調整会議

市・福祉部と児童部（福祉総務室、高齢福祉室、障がい福祉室、生活福祉室、子育て政策室）とCSWが、地域課題等に対して検討、協議する場として開催しました。

開催日	場所	内容
令和5年3月27日(月)	吹田市役所	重層的支援体制整備事業実施に向け検討

5. ボランティアセンター事業

吹社協ボランティアセンターは、いつでも誰でも気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点として、昭和63年（1988年）に開設しました。どなたでも自分のできる範囲内で、ボランティア活動に参加できるよう、各種ボランティア講座の開催やグループ活動の紹介、活動に関する情報提供を行っています。

(1) ボランティアセンター登録

登録種別	令和4年度	令和3年度
ボランティアセンター登録団体	94団体	91団体
ボランティアセンター個人登録者	55人	60人

(2) ボランティアコーディネート（相談・依頼）

平日の午前9時から午後5時30分まで、ボランティアに関する相談を受け付けました。午後1時から午後4時までは、8人のボランティア相談員が交代制で相談を受け付けています。

また、月に1度（第4月曜日午前10時から午前11時30分）コーディネート会議を開催し、ボランティア情報の共有や意見交換を行い、京都光華女子大学教授の石井祐理子氏からコーディネートの指導を受けました。

	令和4年度	令和3年度
ボランティア相談実施日数	242日	242日
ボランティア活動希望の相談	171件	113件
ボランティア依頼の相談	98件	65件

【主なコーディネートの内容】

- ・地区福祉委員会活動のいきいきサロンに、歌体操や手品、音楽などのボランティアグループを紹介しました。
- ・吹田市に引っ越して来られたボランティア活動希望者に対して、本人の思いに寄り沿いボランティアグループと地区福祉委員会活動にコーディネートしました。
- ・障がい福祉室より、視覚障がいのある方の代筆の依頼があり、本人と何度か面談し紹介しました。また、面談を重ねていく中で生活課題も見えたため、本人の了解を得て、CSWにつなげました。
- ・令和3年度ボランティア体験プログラムの期間終了後も、引き続きボランティア活動を希望する学生を、地域で行うオンライン講座や学生交流会の企画メンバーなどの活動を調整しました。
- ・視覚障がいのある方の代読ボランティアの依頼があり、ボランティア募集と並行して図書館での対面朗読やボランティアグループの情報提供をしました。またCSWと連携し障がい者手帳の取得について説明するなど支援しました。
- ・知的障がいのある活動希望の方に、ご本人の想いや希望に添えるよう何度も話を重ねて活動先を紹介し、活動時にも同行し安心して活動できるよう支援しました。
- ・内勤の仕事をしている方で、屋外のボランティア活動をしたいとの相談に対して、高齢者施設周辺の除草活動をしているグループを紹介しました。

- ・障がい者相談支援センターから、就労移行支援で関わっている方からの相談がありました。就労に向けてのステップとして、1、2か月間ボランティア活動を経験したいとの相談を受け、コミュニティサロンで交流しながら活動できるよう調整しました。
- ・自宅で障がいのある子どもの見守りをして欲しいとの依頼で、支援学級などでのボランティア経験がある個人登録ボランティアと面談しコーディネートしました。
- ・ボランティアセンターまつりで、中学生のボランティア活動の希望があり、ボランティア登録団体での活動やイベントを紹介しました。
- ・CSW からの相談で、聴覚障がいのある高齢者夫婦の引越しのに伴う自宅の荷物整理の際に、手話通訳ボランティアの依頼。手話通訳のスキルのあるボランティア相談員へ依頼し、CSW と共に訪問して支援しました。

(3) ボランティア相談員の研修会

ボランティア相談員 8 人を対象に、令和 4 年 9 月 26 日（月）に、個人情報取り扱いについて再確認しました。また、普段コーディネートするうえで心がけていること、大切にしていること、難しいと感じていることをグループディスカッションし、京都光華女子大学教授 石井 祐理子氏より指導を受けました。

(4) ボランティア体験プログラム

ボランティア活動に関心があるが、なかなかきっかけがないという大学生・専門学校生を対象に、ボランティア活動体験ができるプログラムです。若い世代と地域が接点をもつ機会をつくり、若者も一人の地域社会の一員・担い手として力を発揮し、活力ある地域（社会）を築いていくことを目的に、ボランティアグループ（団体）や地区福祉委員会に受け入れの協力をいただきコーディネートしました。

体験期間	令和 4 年 7 月 1 日（金）から 11 月 30 日（水）
周知方法	市報すいた、社協だより、社協ホームページ、市内各大学へチラシ送付
申込み者数	16 人
コーディネート内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ協力グループ（団体）：2 ・受入れ協力地区福祉委員会：20 ・プログラム数：42 ・16 団体へ延べ 25 人をコーディネート

(5) コミュニティサロン

コミュニケーションが苦手な方や上手くボランティア活動につながらない方、初めて活動される方でも気軽にできるボランティア活動として、ボランティア相談員と共にサロンを開催しました。

開催日	場所	内容	延べ参加者数 (うちボランティア相談員)
毎月第2・4火曜日 午後1時から午後3時	総合福祉会館	・プルタブの選別 ・使用済み切手整理 など	408人(114人) 平均参加者数：18人
毎月第1木曜日 午後2時から午後4時	夢つながり未来館	・使用済み切手整理	122人(20人) 平均参加者数：10人

(6) もしもし電話訪問活動

ボランティアが、ひとり暮らし高齢者を対象に週に1度、電話訪問（電話による声かけ話し相手）を行うことにより、安否確認や孤独感・不安感の解消を図りました。

活動状況

	令和4年度	令和3年度
対象者数	6人	6人
延べ件数	267件	248件

(7) 各種講座の開催

1) 歌体操ボランティア養成講座

当センター登録団体の心ふれあいSA吹田（歌体操介護予防市民塾）と共催で全5回の講座を2回開催しました。

●第1回

会 場：総合福祉会館

開催日：令和4年4月5日（火）、12日（火）、19日（火）、27日（水）

5月10日（火）午後1時30分から午後3時30分

参加者：7人（延べ23人）

●第2回

会 場：総合福祉会館

開催日：令和4年11月4日（金）、11日（金）、17日（木）、25日（金）、

12月2日（金）午後1時30分から午後3時30分

参加者：9人（延べ38人）

2) 関西大学点訳講座

当センター登録団体の点訳グループ「あい」の協力で、学生を対象に全8回の点訳講座を開催しました。

会 場：関西大学

開催日：令和4年10月14日、21日、28日、11月11日、18日、25日、12月2日、

12月9日 いずれも金曜日 午後1時から午後2時30分

参加者：14人

3) 子育て支援傾聴ボランティア養成講座

当センター登録団体の吹田傾聴「ほほえみ」と共催で子育て支援を対象にしたボランティア養成講座を開催しました。

会 場：夢つながり未来館

開催日：令和4年11月9日（水）、15日（火）、21日（月）、29日（火）、
12月2日（金）午前10時10分から正午

参加者：20人（延べ78人）

4) 精神保健福祉ボランティア養成講座

心の病のある方が地域で安心して暮らしていくために、地域で理解者を増やし、障がいがある方の応援団（ボランティア）を増やしていくことを目的に、市障がい福祉室、障がい者事業所（のぞみ福祉会シード・ブルーリボン・きらめき）、吹田精神保健福祉ボランティアグループ「アムール」との共催で開催しました。

会 場：総合福祉会館

開催日：令和5年2月3日（金）、17日（金）

いずれも午後1時30分から午後3時30分

参加者：14人（延べ27人）

5) ボランティア入門講座

市民に広くボランティア活動へ興味関心を持ってもらい、活動への第一歩を踏み出すきっかけづくりのための入門講座を開催しました。

会 場：総合福祉会館

開催日：令和5年3月20日（月）午前10時から正午

参加者：9人

(8) ボランティアセンターまつり

吹田市ボランティア連絡会と共催で、ボランティア活動発表や体験の場を設け、広くボランティア活動の魅力を伝え活動の裾野を広げるべく、関係機関や一般市民にも参加を呼び掛けて開催しました。

会 場：総合福祉会館（1階：談話室 2階：第3会議室・和室 3階：保健センター研修室 5階：大広間）

日 時：令和5年3月12日（日）午後1時から午後3時30分

内 容：ボランティアグループの活動発表（10団体）

ボランティア体験コーナー

吹田市ボランティア連絡会のパネル展示、作品展示

スマホなんでも相談コーナー、ボランティア活動相談コーナー

グーチョキパン屋さんによるパンの販売

スタンプラリー（景品）

来場者数：167人

(9) 点訳グループと点字ユーザーとの交流会

ボランティアセンター登録団体の点訳グループ（点訳の会「円」、セラピー点訳の会、点訳グループ「あい」）と、点字を利用しているもしくは利用したい方、点訳活動をしてみたい方の交流会を開催しました。

会 場：総合福祉会館

開催日：令和 5 年 3 月 18 日（土）午前 10 時から正午

参加者：7 人

(10) 吹田市ボランティア連絡会の活動支援

吹田市ボランティア連絡会は、ボランティアセンターに登録しているグループのうち 26 グループで結成され、さまざまな分野のボランティアグループが横のつながりを大切に交流を図り、吹田市内のボランティア活動がより活発になるよう取り組んでいます。

ボランティアセンターとして、下記の吹田市ボランティア連絡会の活動を支援しました。

開催日	活動内容	備考
令和 4 年 4 月 15 日（金）	令和 4 年度総会	総会終了後に座談会を実施
令和 4 年 4 月～（計 15 回）	広報紙編集会議	6 月 1 日、9 月 1 日、3 月 1 日発行
令和 4 年 5 月 30 日（月）	大阪府市町村ボランティア連絡会 総会	
令和 4 年 6 月～（計 4 回）	スカイランタンの準備作業	すいたフェスタで使用
令和 4 年 5 月 27 日（金） 6 月 30 日（木） 7 月 29 日（金）	みんなの健康展実行委員会	9 月 10 日（土）、11 日（日） にメイシアターで開催
令和 4 年 7 月 27 日（水）	ボランティア連絡会体験講座 （ウエルネスダーツ体験）	センター登録グループ 吹田市ウエルネスダーツ協会
令和 4 年 9 月 10 日（土） 9 月 11 日（日）	みんなの健康展	キーホルダー作り
令和 4 年 10 月 5 日（水）	吹田市社会福祉協議会第 4 次地域 福祉活動計画中間年の懇談会	
令和 4 年 10 月 7 日（金） 10 月 14 日（金）	赤い羽根共同募金街頭募金	阪急南千里駅前と JR 吹田駅 周辺で実施
令和 4 年 10 月 12 日（水）	ボランティア連絡会交流会	管外
令和 4 年 11 月 7 日（月）	府市町村ボランティア連絡会 北摂ブロック交流会（in 吹田）	北摂ブロックで交流

令和4年12月20日(火)	府市町村ボランティア連絡会 テーマ別研修会	テーマ「ボランティア活動は魅せる時代！写真や言葉のチョイスなど、広報のイロハを徹底解説！」
令和5年1月13日(金)	ボランティア連絡会親睦交流会	・講演「コロナ禍でのボランティアへの対応や工夫と今後について」 ・各テーブルで交流
令和5年2月3日(金)	府市町村ボランティア連絡会 代表者会議	令和4年度活動報告、会計報告、役員改選についてなど
毎月第1金曜日	役員会	活動報告、活動予定など

(11) ボランティア広報・啓発活動

1) すいたボランティアセンターだよりの発行

ボランティアセンター登録団体・個人登録ボランティアに対して、ボランティア活動に関する情報提供で、すいたボランティアセンターだよりを発行しました。

また、春号はカラーで作成し、地区福祉委員会や地区公民館などにも配布しました。

発行月	内容	発行部数
令和4年6月	第80号「コミュニティサロン活動の紹介」など	200部
令和4年9月	第81号「ボランティア募集情報」など	〃
令和4年10月	第82号「ボランティア募集情報」など	〃
令和4年12月	第83号「講座の案内」など	〃
令和5年2月	第84号「ボランティアセンターまつり」など	〃
令和5年3月	春号	1,500部

2) ボランティア連絡会広報紙「ボランティア連絡会 SUITA すまいる」の発行

ボランティアセンターとボランティア連絡会編集委員会が編集会議を重ね、広報紙（A4版4ページ）を6月1日号、9月1日号、3月1日号、各号3,000部発行しました。

(12) ボランティアセンター運営委員会

ボランティアセンターの円滑な運営と効果的な事業実施を図るため、運営委員会で検討、協議しました。

開催日	場所等	案件
令和4年7月26日(火)	総合福祉会館	令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、令和4年度中間報告について
令和4年11月14日(月)	総合福祉会館	令和4年度中間報告について 令和4年度今後の取組みについて
令和5年1月26日(木)	総合福祉会館	令和4年度中間報告、令和4年度今後の取組みについて、令和5年度事業計画について

6. 福祉教育

吹社協では小・中学校の依頼を受けて、地区福祉委員会やボランティア、施設連絡会加盟の福祉施設の協力を得て、車いす体験やアイマスク体験、点字体験や高齢者疑似体験の他、視覚や聴覚、身体に障がいをお持ちの当事者による講話などの「福祉教育」を実施しています。

福祉教育を通して、お互いの違いを認め合い、「思いやり」「支え合い」の心を育てるきっかけとなるよう、学校の先生と一緒に打ち合わせを行い、体験だけでなく体験学習を振り返る機会を設けてもらうようにしています。

(1) 福祉教育の実施状況

小学校23校、中学校11校で、延べ9,625人の生徒を対象とした福祉教育に、延べ427人のボランティアが協力しました。

開催日	学校名	協力団体	人数	内容	学年・人数	
令和4年5月13日（金）	竹見台中	地域包括支援センター	2人	車いす体験	2年生	120人
令和4年5月18日（水）			1人			
令和4年5月20日（金）			2人			
令和4年6月9日（木）	東佐井寺小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	6年生	78人
令和4年6月10日（金）	竹見台中	視覚障がいボランティア	2人	視覚障がい者のお話	1年生	154人
令和4年6月27日（月）	豊津西中	聴覚障がいボランティア	4人	聴覚障がい者のお話	1年生	139人
		点訳グループ「あい」	6人	点字体験		139人
令和4年7月8日（金）	竹見台中	桃山台地区福祉委員会	5人	アイマスク体験	1年生	154人
		竹見台地区福祉委員会	4人			
令和4年8月25日（木）	豊津西中	点訳グループ「あい」	5人	点字の絵本	1年生	24人
令和4年8月26日（金）						24人
令和4年8月29日（月）			4人			24人
令和4年8月30日（火）						24人
令和4年9月5日（月）						24人
令和4年10月11日（火）	山田第二小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	4年生	72人
令和4年10月13日（木）	佐竹台小	佐竹台地区福祉委員会	5人	アイマスク体験	4年生	132人
				車いす体験		132人
令和4年10月18日（火）	南山田小	身体障がいボランティア	1人	身体障がい者のお話	4年生	167人
令和4年10月20日（木）	南山田小	南山田地区福祉委員会	6人	車いす体験	4年生	167人
令和4年10月26日（水）	江坂大池小	点訳グループ「あい」	3人	視覚障がい者のお話	4年生	77人
			5人	点字体験		77人
令和4年10月28日（金）	江坂大池小	SA吹田	5人	アイマスク体験	4年生	77人
令和4年11月1日（火）	千里丘北小	山二地区福祉委員会	7人	車いす体験	4年生	130人
令和4年11月2日（水）	千里第二小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	3年生	170人

令和4年11月7日（月）	山田第三小	点訳グループ「あい」	8人	点字体験	5年生	47人
令和4年11月8日（火）	吹田第六小	吹六地区福祉委員会	8人	アイマスク体験	4年生	46人
				車いす体験		46人
令和4年11月9日（水）	第六中	点訳グループ「あい」	3人	視覚障がい者のお話	2年生	183人
			5人	点字体験		36人
令和4年11月10日（木）	千里第二小	シニアコミュニティクラブ吹田	12人	アイマスク体験	3年生	136人
令和4年11月11日（金）	山田第三小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	2年生	58人
令和4年11月11日（金）	第六中	点訳グループ「あい」	6人	点字体験	2年生	147人
令和4年11月14日（月）	千里第二小	シニアコミュニティクラブ吹田	7人	アイマスク体験	3年生	34人
		点訳の会「円」	4人	視覚障がい者のお話		170人
令和4年11月18日（金）	東佐井寺小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	4年生	74人
令和4年11月18日（金）	青山台小	青山台地区福祉委員会	5人	アイマスク体験	4年生	42人
				車いす体験		42人
令和4年11月21日（月）	片山小	点訳グループ「あい」	8人	点字体験	4年生	164人
		片山地区福祉委員会	8人	車いす体験		164人
令和4年11月24日（木）	第三中	吹一地区福祉委員会	6人	車いす体験	1年生	83人
		吹六地区福祉委員会	6人	アイマスク体験		83人
令和4年11月24日（木）	千里丘北小	点訳グループ「あい」	8人	点字体験	4年生	130人
令和4年11月25日（金）	佐井寺小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	3年生	100人
令和4年11月30日（水）	津雲台小	津雲台地区福祉委員会	7人	アイマスク体験	4年生	102人
				車いす体験		102人
令和4年12月2日（金）	千里たけみ小	竹見台地区福祉委員会	4人	車いす体験	4年生	66人
令和4年12月5日（月）	西山田中	点訳の会「円」	3人	視覚障がい者のお話	1年生	120人
令和4年12月6日（火）	千里たけみ小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	4年生	66人
令和4年12月7日（水）	佐井寺小	点訳の会「円」	5人	視覚障がい者のお話	2年生	101人
令和4年12月8日（木）	古江台小	古江台地区福祉委員会	6人	アイマスク体験	4年生	97人
				車いす体験		97人
令和4年12月12日（月）	西山田中	西山田地区福祉委員会	5人	アイマスク体験	1年生	120人
		山三地区福祉委員会	5人	車いす体験		120人
令和4年12月13日（火）	吹田南小	点訳の会「円」	2人	視覚障がい者のお話	3年生	158人
		吹南地区福祉委員会	8人	アイマスク体験		32人

令和4年12月14日（水）	吹田南小	吹南地区福祉委員会	9人	アイマスク体験	3年生	126人
令和4年12月15日（木）	吹田第一小	吹一地区福祉委員会	5人	アイマスク体験	3年生	45人
令和4年12月15日（木）	片山小	点訳グループ「あい」	2人	視覚障がい者のお話	4年生	164人
令和5年1月16日（月）	吹田第一小	点訳の会「円」	5人	点字体験	4年生	39人
令和5年1月16日（月）	藤白台小	身体障がいボランティア	1人	身体障がい者のお話	4年生	139人
令和5年1月20日（金）	古江台中	点訳グループ「あい」	2人	視覚障がい者のお話	1年生	140人
令和5年1月23日（月）	藤白台小	シニアコミュニティクラブ吹田	8人	車いす体験	4年生	139人
令和5年1月30日（月）	山田東中	山一地区福祉委員会	9人	アイマスク体験	1年生	74人
				車いす体験		74人
令和5年2月3日（金）	山田東中	北山田地区福祉委員会	6人	アイマスク体験	1年生	76人
				車いす体験		76人
令和5年2月3日（金）	古江台中	点訳グループ「あい」	4人	点字体験	1年生	48人
令和5年2月6日（月）	千里丘中	点訳グループ「あい」	6人	点字体験	1年生	150人
令和5年2月6日（月）	高野台中	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	1年生	144人
令和5年2月7日（火）	千里丘中	点訳グループ「あい」	6人	点字体験	1年生	187人
令和5年2月8日（水）	高野台中	佐竹台地区福祉委員会	4人	アイマスク体験	1年生	144人
		高野台地区福祉委員会	5人	車いす体験		144人
令和5年2月9日（木）	第二中	SA吹田	6人	アイマスク体験	1年生	153人
		岸部地区福祉委員会	7人	車いす体験		153人
		あす〜る吹田	1人			
令和5年2月9日（木）	千里第三小	点訳の会「円」	4人	視覚障がい者のお話	4年生	173人
令和5年2月10日（金）	千里新田小	シニアコミュニティクラブ吹田	7人	アイマスク体験	4年生	122人
		千里新田地区福祉委員会	10人	車いす体験		122人
令和5年2月13日（月）	古江台中	津雲台地区福祉委員会	6人	車いす体験	1年生	140人
		古江台地区福祉委員会	6人	アイマスク体験		140人
令和5年2月16日（木）	豊津西中	第2ヒューマン	5人	身体障がい者のお話	1年生	139人
令和5年2月21日（火）	吹田第一小	吹一地区福祉委員会	7人	車いす体験	2年生	47人
令和5年2月21日（火）	桃山台小	点訳の会「円」	2人	視覚障がい者のお話	4年生	131人
令和5年2月24日（金）	吹田第一小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	6年生	46人
令和5年2月27日（月）	桃山台小	点訳グループ「あい」	6人	点字体験	4年生	131人

令和5年2月27日（月）	豊津西中	第2ヒューマン あすなるデイサービス江坂 憩～江坂～	3人	フィールドワーク 福祉施設インタビュー	1年生	72人
令和5年2月28日（火）	千里第一小	千一地区福祉委員会	8人	アイマスク体験	4年生	142人
		点訳グループ「あい」	8人	点字体験		142人
令和5年3月2日（木）	豊津西中	第2ヒューマン あすなるデイサービス江坂 憩～江坂～	3人	フィールドワーク 福祉施設インタビュー	1年生	72人
令和5年3月6日（月）	江坂大池小	聴覚障がいボランティア	3人	聴覚障がい者のお話	3年生	80人
令和5年3月7日（火）	吹田第二小	吹二地区福祉委員会	10人	アイマスク体験	4年生	49人
				車いす体験		49人
令和5年3月9日（木）	江坂大池小	豊津西地区福祉委員会	6人	車いす体験	5年生	70人
令和5年3月15日（水）	山田中	南山田地区福祉委員会	4人	アイマスク体験	1年生	236人
		山五地区福祉委員会	4人			
令和5年3月16日（木）	山田中	点訳グループ「あい」	6人	点字体験	1年生	236人
令和4年度実績		ボランティア延べ人数	427人	生徒延べ人数	9,625人	

令和3年度実績	ボランティア延べ人数	185人	生徒延べ人数	4,856人
---------	------------	------	--------	--------

(2) すいこれin小中学校の開催

「自分たちにできること」をテーマに児童・生徒同士で意見交換を行いました。グループワークでは、地域の地区福祉委員、ボランティア団体も参加し、一緒に地域のこれからについて考える機会となりました。

開催日	会場	内容	参加者
令和4年12月15日(木)	千里たけみ台小	私たちにできること	4年生2クラス66人
令和5年3月9日(木)	桃山台小	視覚障がい者のために、自分たちにできることってなんだろう	4年生4クラス131人
令和5年3月16日(木)	豊津西中	障がいのある方たちが安心して暮らせるまちづくりとは？一人ひとりができること	1年生2クラス60人

(3) その他

福祉教育で協力いただいている吹田市聴言障害者協会との意見交換会を実施しました。内容は、吹社協が取り組む福祉教育の説明、福祉教育に協力いただいているボランティア同士で、どのような内容を話されているのか、どういう工夫をされているのかなど意見交換しました。

開催日	会場	内容	参加者
令和4年8月6日(土)	総合福祉会館	吹社協が取り組む福祉教育について ～意見交換会～	聴言障害者協会8人 手話通訳ボランティア2人 吹社協職員3人

7. 組織構成会員、賛助会費（地域ふくし協力金）

地域福祉を推進するために吹社協が行う活動について、より多くの地域住民や関係機関・団体等からの賛同を得るとともに、活動財源を確保するために、組織構成会員及び賛助会員を広く募りました。

(1) 組織構成会員

「組織構成会員制度」は地域福祉推進のため幅広い関係団体・機関との連携を進めることを目的としており、吹社協の評議員は組織構成会員から選出しています。

令和4年度（2022年度）は、7団体が新規入会しました。

令和4年7月27日（水）に、地区福祉委員会と施設連絡会以外の組織構成会員向けに、組織構成会員説明会を開催し、14団体17人に参加していただきました。第4次計画の中間年に際して懇談会を開催し、計画についてご意見をいただきました。

(2) 組織構成会員数

令和5年3月31日現在

領域	会員数（団体数）
I. 住民代表的な性格の強いもの（地区福祉委員会を含む）	37
II. 福祉専門機関・団体的性格の強いもの	125
III. 当事者団体的性格の強いもの	8
IV. 関連分野・団体	12
V. その他学識経験者など	0
合計	182

令和4年度の新規加入団体については次のとおりです。

- ・株式会社 tete 訪問介護サービス tete
- ・（福）成光苑 きりん愛育園
- ・（福）千里みおつくしの杜 くりのみ寮
- ・（福）恵泉福祉会 きたせんり愛育保育園
- ・（福）さつき福祉会くらしの支援センターみんなのき
- ・グランヒル・ユニバ中銀 千里つくも台
- ・NPO 法人子どもセンターぬっく

(3) 賛助会員及び地域ふくし協力金（賛助会費）

令和4年度（2022年度）も強化月間は設けず、各地区の状況に応じて、自治会をはじめ地区福祉委員会の協力のもと、地域ふくし協力金の募集を行いました。

引き続き吹社協の取り組みや地区福祉委員会活動の周知と賛助会員の増員を目指し、社協だよりで活用用途など、わかりやすい広報に努めました。コロナ禍で、各地区のサロン活動などで地域ふくし協力金の活用用途の広報等があまり実施できませんでしたが、地域福祉活動の周知と共に活動財源確保に取り組む地区福祉委員会が増えています。

また、自治会に加入していない地域住民に向けて地域ふくし協力金への理解を深めていただくために地区広報紙に振込用紙を添付し、各戸配布する地区もあり、地域ふくし協力金への理解が広がっています。

令和4年4月1日から令和5年3月31日

地区名	令和4年度実績（円）				令和3年度実績（円）	前年度比
	合計	自治会	法人	その他		
吹一	409,500	227,500	182,000	0	542,800	75.4%
吹二	491,000	391,000	100,000	0	482,400	101.8%
吹三	378,609	352,000	10,000	16,609	322,100	117.5%
吹六	269,600	214,600	55,000	0	289,000	93.3%
東	406,200	376,200	30,000	0	450,900	90.1%
吹南	493,500	272,500	221,000	0	530,989	92.9%
山手	153,500	153,500	0	0	176,500	87.0%
千一	269,000	269,000	0	0	236,700	113.6%
片山	253,100	248,100	5,000	0	282,900	89.5%
千二	178,770	137,000	40,000	1,770	213,500	83.7%
五月が丘	143,000	143,000	0	0	127,500	112.2%
佐井寺	342,514	139,000	146,000	57,514	298,000	114.9%
千三	192,000	167,000	25,000	0	217,000	88.5%
千里新田	187,620	159,000	0	28,620	161,348	116.3%
岸部	304,000	294,000	10,000	0	532,000	57.1%
豊一	269,000	219,000	50,000	0	265,000	101.5%
豊津西	559,380	301,380	258,000	0	536,000	104.4%
山一	363,500	333,500	30,000	0	326,500	111.3%
南山田	530,000	203,000	327,000	0	477,500	111.0%
東山田	397,500	237,500	160,000	0	336,379	118.2%
西山田	391,700	345,700	46,000	0	358,400	109.3%
北山田	357,600	357,600	0	0	352,300	101.5%
山二	450,500	368,500	82,000	0	468,500	96.2%
山三	268,480	215,000	53,480	0	260,500	103.1%
山五	265,450	248,450	17,000	0	271,450	97.8%
佐竹台	83,500	77,000	5,000	1,500	127,500	65.5%
高野台	300,564	210,100	66,000	24,464	243,819	123.3%
津雲台	330,600	232,600	93,000	5,000	278,600	118.7%
桃山台	422,500	392,500	30,000	0	231,500	182.5%
竹見台	156,042	51,550	3,000	101,492	121,834	128.1%
古江台	787,400	722,400	65,000	0	780,850	100.8%
藤白台	618,315	470,650	142,000	5,665	590,186	104.8%
青山台	370,500	355,500	15,000	0	174,500	212.3%
その他	10,689	0	10,000	689	25,474	42.0%
合計	11,405,133	8,885,330	2,276,480	243,323	11,090,429	102.8%

8. 善意銀行事業

令和4年度(2022年度)は、個人だけでなく、企業からの社会貢献として寄付金や寄付物品の申し出も複数ありました。フードドライブや食料品の寄付については、生活困窮者自立支援センターや子ども食堂、児童養護施設等に橋渡ししました。また、企業からの寄付については、活用方法について相談し、昨年度に引き続きひとり親世帯にクリスマスギフトを配付しました。

(1) 善意銀行寄付・払い出し状況

令和5年3月31日現在

	現金寄付		物品寄付 (件)	払い出し：現金および物品 (円)	
	件数	金額 (円)			
4月	2	106,700	タオルなど 24	災害見舞金 使用済み切手郵送代 タオルなど	10,000 1,150
5月	4	34,193	介護用品など 35	指定寄付払い出し 事務消耗品費 北摂児童養護施設連盟助成金 災害見舞金 (1地区1件) 介護用品など	100,000 21,507 20,000 10,000
6月	6	3,107,700	介護用品など 30	指定寄付払い出し(2件) 災害見舞金 (1地区1件) 介護用品など	1,000,000 10,000
7月	1	6,700	介護用品など 24	災害見舞金 使用済み切手郵送代 振込手数料 介護用品など	10,000 1,150 330
8月	3	46,700	食料品など 28	災害見舞金 食料品など	10,000
9月	9	139,700	絵本など 36	指定寄付払い出し 絵本など	100,000
10月	6	124,007	食料品など 29	災害見舞金 (1地区1件) 使用済み切手郵送代 食料品など	10,000 1,150
11月	5	121,700	食料品など 36	指定寄付払い出し 車いす修繕費 通信運搬費 振込手数料 食料品など	36,000 30,000 644 110
12月	9	467,685	クリスマスケーキなど 25	わくわくお年玉 指定寄付払い出し TUNAGARIクリスマスギフト 事務消耗品費 両替手数料 クリスマスケーキなど	387,000 90,287 294,025 3,020 770
1月	2	11,013	食料品など 20	指定寄付払い出し 事務消耗品費 振込手数料 食料品など	363,000 2,041 1,210
2月	3	15,600	食料品など 28	福祉教育備品購入 使用済み切手郵送代 食料品など	17,240 1,150
3月	3	834,626	車いすなど 32	指定寄付払い出し 法外援護事業(激励会) 災害見舞金 (1地区1件) 印刷製本費 振込手数料 通信運搬費 指定寄付※1 ボランティアセンター事業費 車いすなど	100,000 13,140 10,000 4,940 1,265 504 679,823 205,631
合計	53	5,016,324	347		3,547,087
令和3年度末 合計	41	3,069,732	356		2,717,288

前年度繰越金	6,963,124 円	うち指定寄付	859,281円
本年度預託金	5,016,324 円	うち指定寄付	3,773,000円

(支出)

指定寄付払い出し	1,789,287 円	NPO法人2か所、児童養護施設など
※1	679,823 円	ベンチ4台設置、高次脳機能障がい家族交流会など
TUNAGARIクリスマスギフト	294,025 円	商品券：150世帯に配付
災害見舞金	70,000 円	3地区4件、ウクライナ避難者3件
北摂児童養護施設連盟	20,000 円	
わくわくお年玉	387,000 円	児童養護施設等の入所児童150人に配布
事務消耗品費	43,808 円	福祉教育備品など
修繕費	30,000 円	車いす修理
法外援護事業	13,140 円	中学卒業生激励会行事費用一部
印刷製本費	4,940 円	リーフレット作成
手数料	3,685 円	
通信運搬費	5,748 円	
ボランティアセンター事業	205,631 円	
収入合計	11,979,448 円	
支出合計	3,547,087 円	
差引額	8,432,361 円	うち指定寄付残金:2,163,171円 ※貯蔵品：150,920円活用

(2) 車いす貸出し利用状況

車いす保有台数 (令和5年3月31日現在)	令和4年度貸出し延べ件数	令和3年度貸出し延べ件数
63台	186件	121件

(3) レクリエーション用品貸出し利用状況(令和5年3月31日現在)

ポッチャ5件、ディスコン0件、スカイクロス1件、防災かるた0件

(4) 善意銀行運営委員会開催状況

開催日	場所	案件
令和4年10月25日(火)	総合福祉会館	令和3年度事業報告及び 令和4年度中間報告について
令和5年1月30日(月)	総合福祉会館	令和4年度中間報告及び 令和5年度予算(案)について

9. 災害救援対策事業

災害時に連携して支援活動できるように、吹田市内 3 つのライオンズクラブや大阪よどがわ市民生活協同組合と、災害ボランティア活動に関する協定を締結しました。各団体の強みを活かして、災害時だけでなく平時から連携を図ることを目的としています。

災害時に備えた平時からのネットワークづくりと団体同士の顔の見える関係づくりを目的に、第 8 回吹田災害支援ネットワークを世話役団体と共に企画し、会場参集とオンラインのハイブリッド開催で実施しました。協定を締結した大阪よどがわ市民生活協同組合と、吹田市国際交流協会の講話の後、クロスロードゲームを通して交流を図りました。

また、「災害ボランティアセンター研修会」を開催し、吹田市ボランティア連絡会、災害ボランティア事前登録者等だけでなく、吹社協職員も参加し、災害ごみの取り扱いについて学ぶ機会を設けました。

令和 4 年度（2022 年度）より、吹社協の BCP（事業継続計画）の策定に向けて、係を越えてプロジェクトチームを立ち上げ合意形成を重視して取り組んでいます。

災害ボランティア事前登録制度については、オンラインツール（Google フォーム）による受け付けも新たに取り入れ、多数の申し込みがありました。その他、関係諸団体主催の災害研修等に吹社協職員を講師派遣しました。

(1) 災害時に備えたネットワークづくり

開催日	場所等	内容
令和 4 年 6 月 21 日（火）	メイシアター	吹社協と吹田ライオンズクラブ・吹田東ライオンズクラブ・吹田江坂ライオンズクラブとの「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」締結式
令和 4 年 11 月 11 日（金）	総合福祉会館 オンライン	第 8 回吹田災害支援ネットワーク 第 1 部 講演「災害時にわたしたちにできること」 報告者：大阪よどがわ市民生活協同組合、吹田市国際交流協会 第 2 部 グループ交流（クロスロードゲーム） 参加者：17 団体 24 人
令和 4 年 12 月 8 日（木）	内本町コミュニティセンター	吹社協と大阪よどがわ市民生活協同組合との「災害時における災害ボランティア活動支援に関する協定書」締結式

(2) 研修、会議など

開催日	場所等	内容
令和 4 年 6 月 29 日（水）	総合福祉会館 オンライン	職員研修「あの時、どのように考え判断したのか～大阪府北部地震で高槻、茨木、吹田で起きたこと～」 報告者

		高槻市社協 山田 真司 氏 北おおさか社会福祉士事務所 佐村河内 力 氏 吹社協職員 参加職員 22 人、他市社協職員など 17 人
令和 4 年 9 月 3 日 (土)	千里北公園	吹田市地域防災総合訓練 ・吹社協ブースでクイズ等による啓発活動
令和 4 年 12 月 19 日 (月)	総合福祉会館	災害救援対策会議 ・吹社協災害救援対策要綱等について ・吹社協の災害に関する取り組みについて
令和 5 年 2 月 28 日 (火)	総合福祉会館 オンライン	災害ボランティアセンター研修会 第 1 部「災害ボランティアセンターについて」 講師：大阪府社会福祉協議会 本田 和也 氏 第 2 部「災害ごみの取り扱いについて」 講師：近畿地方環境局 林 篤嗣 氏 参加者：会場 19 人、オンライン 3 人

(3) 吹社協職員の講師派遣など

開催日	場所等	内容
令和 4 年 9 月 20 日 (火) 令和 4 年 11 月 2 日 (水) 令和 4 年 12 月 9 日 (金) 令和 5 年 1 月 23 日 (月)	大阪市内	令和 4 年度災害廃棄物処理府県提案型モデル事業(近畿ブロック) ボランティア連携マニュアル(案)の作製支援(大阪府) ワーキング会議
令和 4 年 9 月 29 日 (木)	吹田市国際交流協会	吹田市国際交流協会外国語通訳ボランティア向け研修「災害に備えてできること」
令和 5 年 1 月 25 日 (水)	オンライン	大阪府社会福祉協議会 「大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーション研修」
令和 5 年 3 月 19 日 (日)	河内長野市社会福祉協議会	河内長野市社会福祉協議会「災害ボランティア活動について」
令和 5 年 3 月 30 日 (木)	オンライン	大阪府社会福祉協議会「運営支援者意見交換会」

10. 広域型生活支援コーディネーター

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら高齢者生活支援体制整備事業に取り組みました。市域では助け愛隊の実施、助け愛隊ボランティア講座や専門職研修会を開催しました。

地域では、CSW、地域包括支援センター、介護保険事業者等と連携して地域検討会を開催し、多様な取り組みを創出しました。

(1) すいたの年輪ネット（吹田市高齢者生活支援体制整備協議会）の開催状況

開催日	場所等	案件
(第1回) 令和4年6月7日(火)	千里山コミュニティセンター オンライン	1. 吹田市地域ケア会議・すいたの年輪ネット ～令和3年度の報告と令和4年度の取組～ 2. 広域型生活支援コーディネーター活動報告について 3. 全体協議 「これからの『すいたの年輪ネット』で取組むテーマ」 4. その他
(第2回) 令和4年11月8日(火)	千里市民センター 一大ホール	1. 広域型生活支援コーディネーター活動報告について 2. 令和4年度の取組について ・助け愛隊ボランティア講座 ・すいたの年輪ネット専門職研修会(作業部会報告) 3. 全体協議 「これからの『すいたの年輪ネット』で取組むテーマ」 4. その他
(第3回) 令和5年1月31日(火)	千里山コミュニティセンター	1. 広域型生活支援コーディネーター活動報告について 2. 令和4年度の取組について ・すいたの年輪ネット専門職研修会 3. すいたの年輪ネットで取組むテーマについて 4. 具体的な検討(グループ協議) ①助け愛隊活動の充実 ②団塊世代の社会参加促進 ③マンション住民の高齢化 5. その他

(2) 作業部会の設置・開催

助け愛隊ボランティア講座、専門職研修会、車いす貸出リストの各作業部会を発足させ、すいたの年輪ネット委員と共に企画を行いました。

助け愛隊ボランティア講座作業部会

開催日	場所
令和4年7月21日(木)	総合福祉会館

専門職研修会作業部会

開催日	場所等
令和4年8月30日(火)	総合福祉会館、オンライン
令和4年9月21日(水)	総合福祉会館、オンライン

車いす貸出リスト作業部会

開催日	場所
令和5年3月8日(水)	竹見台・桃山台地域包括支援センター

(3) 助け愛隊ボランティア講座

開催日	場所	受講者
令和4年10月27日(木)	市民公益活動センター「ラコルタ」	5人

(4) 助け愛隊活動

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に登録ボランティアが簡易な生活支援活動を行いました。

①登録ボランティア：44人

②相談件数：66件

(内訳) 季節家電の入れ替え：1件、大型ゴミの搬出：35件、草抜きなど簡易な庭掃除：13件
電球交換：7件、その他：10件

(5) 地域検討会の開催・コーディネート

身近な生活圏域の小学校区単位で高齢者生活支援を検討することで、地域の実情にあった取り組みの創出が期待されています。本年度も地域団体、介護保険事業者、大学生、地域包括支援センター、CSW等と地域検討会を開催し、地域課題の検討から多様な取り組みにつながりました。

開催地区	開催回数	主な検討事項	主な取り組み
吹一	1	コロナ禍の外出機会創出、生活課題の把握 など	検討中
吹二	6	コロナ禍の外出機会創出、生活課題の把握 など	屋外での体操の場を創出、ふれあい外出配食を複数箇所で開催
山手(※)	6	コロナ禍の外出機会創出 など	おでかけ散歩、スマホ講座
片山	9	コロナ禍の外出機会創出、坂が多い地区の生活課題の検討 など	スマホ講座、買い物サポートマップ発行
五月が丘	12	多様な住民(大学生、障がい者)とのつながり作り、コロナ禍の外出機会創出、大学生との心の交流 など	よりそい隊通信発行、春の交流会、地区内のスーパーや高齢者・障がい者福祉事業所等でスタンプラリー
千里新田	3	坂が多い地区の生活課題、コロナ禍の外出機会創出 など	高齢者にアンケート調査

豊一	5	コロナ禍の外出機会創出 など	歩こう会
津雲台	4	坂が多い地区の生活課題、大学生との交流、コロナ禍のつながり作り など	スマホ講座、ひろば de 体操創出
青山台	4	坂が多い地区の生活課題、コロナ禍の外出機会創出 など	検討中

※山手地区コア会議と併催

(6) 講師派遣など

開催日	内容
令和4年7月10日(日)	大阪ええまちプロジェクトで地域検討会について話題提供
令和4年9月8日(木) 令和4年9月15日(木)	千里金蘭大学(老年看護学実習)で講義
令和4年9月14日(水) 令和4年9月26日(月) 令和4年10月7日(金) 令和4年11月4日(金) 令和4年11月22日(火)	第1回本音で語ろう!生活支援コーディネーター情報交換会実行委員会
令和4年12月18日(日)	市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会で講演 (主催:日本ボランティアコーディネーター協会)
令和5年1月24日(火)	生活支援コーディネーター全体研修(主催:大阪府)スタッフ
令和4年12月20日(火) 令和5年1月23日(月) 令和5年2月10日(金) 令和5年2月22日(水)	第2回本音で語ろう!生活支援コーディネーター情報交換会実行委員会
令和5年3月22日(水)	SCカフェ in 埼玉(主催:埼玉県生活支援コーディネーター連絡会)で活動報告

11. 日常生活自立支援事業

利用者の方々への福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理等の援助を通して、ご本人の生活の安定を図り、自分らしい生活を送ることができるように支援しました。利用者の理解力の低下がみられる場合や、本事業による支援では十分に権利が守られないような場合には、成年後見制度の利用について本人や関係機関と検討し、必要に応じて申立の支援をしました。

本人が他市へ転居する際には、転居先での生活が安定するように関係機関と連携を図り、本人の意向により、転居先の市区町村社協へ移管の手続きを行いました。

12月にオンラインにて「権利擁護支援セミナー～地域における権利擁護支援の仕組みづくりを考える～」を開催し、権利擁護支援の中核機関の設置等、他市での取り組みについて、講演いただきました。本事業についての紹介動画を作成し、3月には動画配信を開始しました。

(1) 事業概要

認知症や精神障がい、知的障がいなどにより判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や、日常的な金銭管理、大切な書類等の預かりを行い、自立した生活を送れるよう支援することを目的とする事業です。主な支援として、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳・証書類等の預かりなどを行っています。

(2) 実施状況

相談件数

	令和4年度（件）	令和3年度（件）
認知症高齢者	79	223
知的障がい者	994	1,268
精神障がい者	2,628	4,531
その他	9	10
合計	3,710	6,032

契約締結件数

	令和4年度（件）		令和3年度（件）	
	全件数	うち新規	全件数	うち新規
認知症高齢者	7	1	10	4
知的障がい者	27	3	26	5
精神障がい者	60	5	62	9
合計	94	9	98	18

契約ケースの経過

	令和4年度（件）	令和3年度（件）
新規契約数	9	18
解約件数	13	8
登録件数	94	98

12. 法人後見事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、物事を判断する能力が十分でない方について、吹社協が成年後見人等となり、生活上のさまざまな行為を自分で行うことが難しくなっても関係機関と連携しながら、財産管理や生活する上での必要な支援や契約等の法律行為を行うことで、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるように支援しました。

(1) 法人後見事業受任状況（令和5年3月31日現在）

受任件数	類型
6件	後見 5件・保佐 1件

(2) 法人後見事業運営委員会開催状況

開催日	場所	内容
令和4年9月9日（金）	男女共同参画センター	1. 委員長、副委員長の選任について 2. 令和3年度法人後見事業事業報告について 3. 法人後見事業受任ケースについて 4. その他
令和5年3月8日（水）	総合福祉会館	1. 法人後見事業受任ケースについて 2. その他

(3) 法人後見受任審査会

開催日	場所	内容
令和4年5月30日（月）	総合福祉会館	1. 委員長、副委員長の選任について 2. 受任審査 1件

(4) 権利擁護の取り組み

市内の福祉事業所、行政、他市社協を対象に「権利擁護支援セミナー ～地域における権利擁護支援の仕組みづくりを考える～」をオンラインにて開催しました。司法の立場から、また中核機関の役割を担う他市社協の先駆的な取り組みについて学び、今後、吹田市での中核機関・権利擁護支援のネットワーク構築に向けての学びの時間となりました。

開催日	場所等	内容
令和4年12月8日（木）	オンライン	1. 講演「司法と福祉の連携について」 SIN 法律労務事務所 福島 健太 氏 2. 講演「中核機関と権利擁護支援」 堺市権利擁護サポートセンター 崎山 由紀子 氏

13. 生活困窮者自立支援事業

令和元年度（2019年度）より、社会福祉法人みなと寮との共同体で、生活困窮者自立支援事業を吹田市より受託しています。

経済的な困りごとや生活の不安を抱える方の相談に応じ、就労支援や家計に関する助言、ハローワークなどの専門機関への取り次ぎなどを行いました。また、必要に応じて自宅訪問や関係機関の窓口への同行（アウトリーチ）を実施するなど、寄り添った対応を行うことで相談者の不安の軽減や経済的な課題解決に努めました。

また、地域住民や関係機関に対する事業周知のため、活動事例集の発行や取り組み報告会を開催しました。支援の早期対応や連携強化につながるよう意識して取り組みました。

(1) 実施状況

内容	令和4年度（件）	令和3年度（件）
新規相談受付	629	863
アウトリーチ	258	207
就労支援対象	73	118

(2) 他事業など連携状況

内容	令和4年度（件）	令和3年度（件）
住居確保給付金の申請受付	51	68
一時生活支援事業	13	14
就労準備支援事業	4	3
生活保護受給者等 就労自立促進事業	6	24

14. 福祉ボランティア基金助成金交付事業

昭和 61 年度（1986 年度）に吹田市から補助金を受け、『福祉ボランティア基金』を設置しています。基金から生じる利息で、ボランティアセンター登録グループに対し助成を行いました。

(1) 福祉ボランティア基金管理運営委員会開催状況

開催日	場所	案件
令和 4 年 5 月 25 日 (水)	総合福祉会館	・令和 3 年度福祉ボランティア基金助成金返還の報告 ・令和 4 年度福祉ボランティア基金助成金の交付について
令和 4 年 12 月 22 日 (木)	総合福祉会館	・令和 4 年度福祉ボランティア基金助成金の報告 ・令和 5 年度福祉ボランティア基金助成金の交付について

(2) 助成金交付状況

申請受付期間	令和4年4月1日（金）から13日（水）
広報	すいた社協だより令和4年3月号、市報すいた令和4年4月号
申請数	52 団体（令和 3 年度：57 団体）
交付数	52 団体（令和 3 年度：57 団体）
交付助成金総額	1,539,000 円（令和 3 年度：1,634,071 円） ・ 18,000 円から 45,000 円の範囲で交付 ・ 1グループ平均：29,596 円
交付決定日	令和 4 年 5 月 25 日（水）

15. 心配ごと相談

心配ごと相談は、昭和 39 年（1964 年）3 月から、毎週水曜日に日常生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言を行ってきました。

相談内容は、家族間での悩みや近隣住民の相談など様々で、相談内容によっては、CSW 等他機関と連携しながら、問題の解決に向けて働きかけました。

(1) 会議など

開催日	場所	内容
令和 5 年 3 月 16 日（木）	まちなかりビング 北千里	心配ごと相談員・貸付調査委員合同研修会 ・施設見学 参加者：18 人（うち心配ごと相談員 9 人）

(2) 心配ごと相談事業実績

開催延べ日数（50 日）	出席相談員延べ人数（96 人）			
相談内容	件数（件）	件数（件）		
		解決	相談 継続中	他機関を 紹介
生計	0	0	0	0
住宅	0	0	0	0
家族	4	2	0	2
結婚・離婚	0	0	0	0
精神衛生	2	0	0	2
人権・法律	0	0	0	0
多重債務	0	0	0	0
高齢者	0	0	0	0
障がい者	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
令和 4 年度合計	6	2	0	4
令和 3 年度合計	1	1	0	0

16. 生活福祉資金貸付事業

昭和 30 年（1955 年）に生活福祉資金の制度が発足して以降、低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と必要な相談支援を行ってきました。

貸付資金の財源は国と大阪府が負担しており、吹社協では大阪府社会福祉協議会の委託を受け、相談や申請の窓口を担いました。申請時には民生・児童委員の意見をいただくなど、吹田市民生・児童委員協議会と連携して申請を受け付けました。また、吹田市生活困窮者自立支援センターや母子父子寡婦福祉資金貸付担当とも密に連携を取りながら、より適切な事業運営に努めました。

新型コロナウイルスの影響による失業者、所得減少者を対象にした特例貸付の相談や申請の受付が 9 月末で終了し、その後は償還に関する相談支援も行いました。

(1) 貸付件数

資金の種類	件数	金額（円）
緊急小口資金	6	550,000
教育支援資金	11	4,067,000
福祉費	5	1,625,000
総合支援資金	0	0
（特例）緊急小口資金	207	39,700,000
（特例）総合支援資金	204	106,870,000
令和 4 年度合計	433	152,812,000
令和 3 年度合計	3,112	1,359,053,000

(2) 相談・問い合わせ件数

資金の種類	延べ件数
緊急小口資金	306
総合支援資金	74
コロナ特例貸付	2,347
教育支援資金	597
福祉費	508
その他	98
令和 4 年度合計	3,930
令和 3 年度合計	10,763

17. 吹田市介護支援サポーター事業

吹田市介護支援サポーター事業は、平成 21 年度（2009 年度）から吹田市より受託して行っており、高齢者の社会参加や地域貢献、介護予防の推進を目的に取り組みました。

対象は 65 歳以上の高齢者で、養成研修受講後に介護支援サポーターとして登録し活動されています。登録後に、市内の高齢者施設等において、レクリエーションの補助や利用者の話し相手等の活動を行っていただきました。活動 1 時間当たり 1 ポイント（1 日 2 ポイントが上限）を介護支援サポーターに付与し、活動の翌年度に 1 ポイント当たり 50 円に換金することができます（換金は 1 年間で 5,000 円が上限）。サポーターの養成研修は、より参加しやすいように会場を 2 か所に増やして実施しました。

令和 4 年度は、継続して事業を実施することができましたが、サポーターの受け入れを休止している施設が多くありました。サポーターや受け入れ施設と連携を取りながら、情報収集など活動支援に努めました。また、フォローアップ研修を、より参加しやすいよう同じ内容で 2 回開催しました。

(1) 養成研修

内容	講師
①介護支援サポーターとは	京都光華女子大学 教授 石井 祐理子 氏
②高齢者の特性を理解する	介護老人福祉施設吹田竜ヶ池ホーム 介護支援相談員 喜多 記子 氏
③施設が期待するサポーター像について	特別養護老人ホーム寿楽荘 主任生活相談員 中村 鉄子 氏 介護老人保健施設吹田徳州苑 事務長・作業療法士 並河 俊弘 氏

(2) フォローアップ研修

開催日	場所	内容
令和 5 年 2 月 28 日（火） 令和 5 年 3 月 14 日（火）	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none">・今、高齢者の社会参加が求められている！ ～元気・健康に生活（活動）するために～ 講師：吹社協職員 報告：特別養護老人ホーム寿楽荘 主任生活相談員 中村 鉄子 氏 あすなるデイサービス江坂 上田 乃輔 氏 <ul style="list-style-type: none">・最近の介護支援サポーター活動について・意見交流会 参加者：延べ 58 人

(3) 吹田市介護支援サポーター新規登録者数

研修実施月	令和4年度	令和3年度
6月	11人	—
7月	6人	6人
9月	2人	5人
10月	1人	8人
11月	4人	7人
12月	2人	—
合計	26人	26人

(4) 介護支援サポーター受入れ施設数

施設の種別	受入れ施設数
通所介護施設	32
介護老人福祉施設	15
介護付有料老人ホーム	6
介護老人保健施設	6
グループホーム	6
街かどデイハウス	1
小規模多機能型居宅介護	1
医療機関	1
合計	68

18. 法外援護事業

吹田市からの委託事業として、市内の児童養護施設等の中学 3 年生を対象に中学校卒業激励行事を実施しました。令和 4 年度 (2022 年度) は、3 年ぶりに従来の食事を伴う激励会を実施しました。

卒業生には吹田市長からのお祝いのメッセージや、記念品として吹田すし商同業組合から目覚まし時計、善意銀行の寄付金を活用して折りたたみ傘を贈呈しました。

中学校卒業生激励会

開催日	場所	参加生徒者
令和 5 年 3 月 15 日 (水)	中華バイキング「第一楼」	10人

19. 広報活動

さまざまな媒体を活用して、地区福祉委員会活動やボランティア活動、吹社協の取り組み等の情報発信を行いました。

また、指定寄付を活用して令和4年度（2022年度）は4地区で「つながりベンチ」を設置しました。ベンチには吹社協と地区福祉委員会名を記載したプレートを取り付けました。

(1) ホームページの更新

令和2年度（2020年度）より、「すいた子育て仲間づくり情報きらきら」については、eコミ（eコミュニティ・プラットフォームの略称）を活用して、ホームページ上の地図で、閲覧可能になりました。令和4年度は、「すいた子育て仲間づくり情報きらきら」の他、吹社協施設連絡会地域貢献マップや吹田高齢者生活サポートリスト「集いの場 編」などの情報を統合したサイト「地域福祉情報特集サイト」をホームページ上に立ち上げました。

すいた社協だより、こどもすいた社協だより、ボランティア連絡会 SUITA すまいるなどの情報紙については、ホームページ上で音訳データ化しています。事業計画などの社協概要データについても、音訳ソフトに対応できるよう編集しました。

（令和4年度延べ閲覧数：20,336回）

(2) ブログの活用

事業や地区福祉委員会活動について、ブログでタイムリーに紹介しました。

（令和4年度延べ閲覧数：10,044回、更新回数：273回）

(3) 広報物などの発行、作成数

こどもすいた社協だより（10月号）作成にあたっては、こども編集委員を募集し、一緒に作成・発行しました。

年1回発行するすいた社協だより掲示版（1月号）については、各地区の身近な広報紙となるよう地区福祉委員会ごとに33種類発行しました。

また、点訳グループ協力のもと、すいた社協だより、こどもすいた社協だより、吹社協のご案内冊子については点訳版も発行しました。

CSW 活動事例集については、若年層への周知の一環として、動画で活動内容を配信する取り組みを行いました。

内容	発行数など
すいた社協だより	延べ3回、42,000部
こどもすいた社協だより	延べ2回、47,000部
CSW 活動事例集	2,000部
すいた子育て仲間づくり情報きらきら	11,000部
すいた社協だより掲示版	3,900部
きららカレンダー	2,500部

20. コロナ禍での取り組み

(1) コロナ禍における学生支援「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」

新型コロナウイルスにより生活に影響が生じている市内在住・在学の大学生を対象に食料品や施設連絡会からの応援メッセージ、吹田しあわせネットワークのチラシ等を配布し、支援しました。実施にあたり、生協からの協力を得て、施設連絡会と実行委員会を組織して取り組みました。

	配布期間	対象者	申込者数
第1回	令和4年7月26日(火)から7月29日(金)	大学生 専門学校生	50人
第2回	令和4年10月25日(火)から10月28日(金)	大学生 専門学校生	36人
第3回	令和5年1月24日(火)から1月27日(金)	高校生 大学生 専門学校生	59人

(2) 学生交流会の実施

新型コロナウイルスにより交流の機会が減少している学生への支援の一環として、昨年度に引き続き、学生同士の交流会を実施しました。実施にあたっては学生およびOB・OGの有志メンバーと共に企画運営を行いました。また、交流会ではボランティア活動の案内を行い、オンライン講座での活動につながりました。第2回目からは、多様な世代が交流できるような交流会を企画しました。

	実施日	対象者	参加者数
第1回	令和4年8月8日(月)	大学生・専門学校生	13人
第2回	令和4年12月10日(土)	市内在住、在学	19人
第3回	令和5年2月24日(金)	市内在住、在学	14人

(3) ひとり親世帯への支援

令和3年度に引き続き、企業からの寄付金を活用して、新型コロナウイルスの影響で生活に影響が生じているひとり親世帯を対象に、子どもへのクリスマスプレゼント購入のためのギフト券、CSWのリーフレット等の配布を行いました。

また、母子寡婦福祉会の「母の集い」にて、吹田協やCSWについて講演し、相談支援の取り組みを周知しました。

内容	配布期間	配布世帯数
ギフト券の配布	令和4年12月中旬に発送	150世帯

21. その他の活動

(1) 吹田地区募金会事務局

「第76回赤い羽根共同募金運動」を、10月1日から12月25日まで実施しました。

令和4年度（2022年度）は、新型コロナウイルス感染対策を取りながら、全市一斉の街頭募金活動の実施や地区行事での募金箱の設置など、さまざまな形式で募金活動が展開されました。

また、街頭募金や事務局窓口で取り扱っている記念バッジは、852個の頒布実績でした。

（昨年度：645個）

令和4年度の募金実績合計額は、昨年度と比較して0.7%の増加となりました。

吹田地区募金会実績額表

	令和4年度（円）	令和3年度（円）	比較増減(円)	増減率(%)
戸別募金	6,417,571	6,483,246	△65,675	△1.0
街頭募金	732,922	422,669	310,253	73.4
法人募金	1,638,600	1,664,194	△25,594	△1.5
学校募金	180,204	209,393	△29,189	△13.9
その他募金	773,910	894,725	△120,815	13.5
合 計	9,743,207	9,674,227	68,980	0.7

(2) 施設連絡会事務局

令和4年度(2022年度)、施設連絡会では、昨年度に続き、吹社協や大阪よどがわ市民生活協同組合と連携し、新型コロナウイルスの影響等で生活に影響が生じている学生への食料品配布に取り組みました。第3回目の配布においては対象者を高校生にも拡大し、取り組みの充実を図りました。

その他、施設連絡会ではSDGsについて学び、社会福祉法人が担うべき役割について理解を深めるために研修会を開催しました。オンラインと対面参加の両方を取り入れ、コロナ禍でも参加しやすい研修会の開催に努めました。

また、吹田しあわせネットワークでは、「ヤングケアラー」について理解を深めるため、当事者団体を招いて事例検討会を開催し、支援方法などを検討しました。障がい福祉サービス日中活動事業所連絡会会員施設への報告会では、吹田しあわせネットワークの取り組みを紹介し、ネットワークへの参画を呼びかけました。

支援者間の交流会では、重層的支援体制整備事業について学び、支援者同士が連携する方法や活動を広げる方法について意見交換を行いました。地区福祉委員会や民生・児童委員協議会を中心に参加を呼びかけた吹田しあわせネットワーク取り組み報告会では、吹田の取り組みの特徴に焦点を当て、事例を紹介し活動を周知しました。

幹事会や総会は、オンラインを活用し感染予防に努めながら、活動内容について話し合いや情報共有を重ねました。

1) 第18回総会

開催日	場所	内容
令和4年6月29日(水)	保健センター オンライン	<ul style="list-style-type: none">令和3年度施設連事業報告・決算について令和4年度施設連事業計画・予算について 参加者：44施設 委任状提出：51施設 <ul style="list-style-type: none">研修会「福祉施設における個人情報保護について」 講師：きずな大阪法律事務所 弁護士 岡崎 倫子 氏

2) 幹事会

開催日	主な内容
令和4年5月25日(水)	令和4年度事業実施について <ul style="list-style-type: none">コロナ禍における学生支援について大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」について吹田しあわせネットワーク CSW 会議報告アウトリーチ型研修助成事業について地域貢献リストの配布について第18回総会について
令和4年7月27日(水)	令和4年度事業実施について <ul style="list-style-type: none">「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」についてアウトリーチ型研修助成事業申請結果について吹田しあわせネットワーク CSW 会議報告

	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」申請内容について ・地域貢献リストの配布について
令和4年9月28日(水)	<p>令和4年度事業実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」経過報告 ・アウトリーチ型研修助成事業について ・吹田しあわせネットワーク CSW 会議報告 ・大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」について
令和4年11月30日(水)	<p>令和4年度事業実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」経過報告 ・2023年度 CO・OP 共済 地域ささえあい助成の申請について ・アウトリーチ型研修助成事業について ・吹田しあわせネットワーク CSW 会議報告 ・大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」について
令和5年1月25日(水)	<p>令和4年度事業実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」経過報告 ・令和4年度「アウトリーチ型研修」完了報告 ・吹田しあわせネットワーク CSW 会議および支援者間交流会報告 ・大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」について
令和5年3月22日(水)	<p>令和4年度事業実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来がきらり☆吹田学生応援プロジェクト」報告 ・CO・OP 共済地域ささえあい助成精算報告 ・CO・OP 共済地域ささえあい助成 2023年度審査結果について ・吹田しあわせネットワーク取り組み報告会報告 ・吹田しあわせネットワーク CSW 会議報告 <p>令和5年度実施事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第19回総会について ・地域貢献リストについて

3) 吹田しあわせネットワーク CSW 会議

開催日	主な内容
令和4年5月13日(金)	<p>相談支援事例の状況</p> <p>支援物品の在庫状況</p> <p>生活困窮者自立支援センターからの報告</p> <p>吹田市内の大学生の支援について</p>
令和4年7月22日(金)	<p>相談支援事例の状況</p> <p>支援物品の在庫状況</p> <p>生活困窮者自立支援センターからの報告</p> <p>ヤングケアラー事例検討について</p>

令和4年9月16日(金)	相談支援事例の状況 支援物品の在庫状況 生活困窮者自立支援センターからの報告 吹田市内の大学生の支援について 未来がきりり☆吹田学生応援プロジェクトについて
令和4年11月4日(金)	相談支援事例の状況 支援物品の在庫状況 生活困窮者自立支援センターからの報告
令和5年1月13日(金)	相談支援事例の状況 支援物品の在庫状況 生活困窮者自立支援センターからの報告
令和5年3月10日(金)	相談支援事例の状況 支援物品の在庫状況 生活困窮者自立支援センターからの報告

4) 研修会・交流会・報告会

開催日	場所	主な内容
令和4年11月4日(金)	総合福祉会館	報告「ヤングケアラーの実態について」 事例検討 ①「高齢者をケアする子どもの事例」 ②「精神疾患のある母をケアする子どもの事例」 講師：ふうせんの会 朝田 健太 氏 尾上 浩美 氏 参加者：22人
令和4年11月17日(木)	ホテルクライトン 江坂 オンライン	研修会「SDGs～社会福祉法人の役割と使命について～」 講師：SDGs 市民社会ネットワーク 事務局長 新田 英理子 氏 参加者：31人
令和5年1月13日(金)	メイシアター オンライン	研修交流会「吹田しあわせネットワーク支援者間交流会」 講師：吹田市福祉総務室 室長 乾 裕 氏 参加者：20人
令和5年3月10日(金)	メイシアター	吹田しあわせネットワーク取り組み報告会 登壇者：大阪府社会福祉協議会地域福祉部 部長 叶井 泰幸 氏 千里ニュータウンこども園 園長 重見 将治 氏 吹田特別養護老人ホーム松風園 CSW 吉岡 康史 氏 参加者：93人

5) 講師派遣など

開催日	場所	内容
令和4年8月31日(水)	大阪府社会福祉会館	地域貢献委員会（施設連絡会）代表者会議 実践報告 登壇：会長 武内 慎吾 氏、吹社協職員
令和4年11月15日(火)	大阪国際会議場	CSW マイスター現任研修会 実践報告 登壇：幹事 吉久 正規 氏
令和5年2月3日(金)	柏原市健康保健福祉センター	河南ブロック社協連絡会会長・事務局長会・職員合同研修会 実践報告 登壇：吹社協職員

(その他の取り組み)

- ・かぎ預かり事業について、施設連絡会加盟施設9施設が協定締結
- ・施設連絡会地域貢献マップを更新
- ・吹社協発行「社協だより」に施設連絡会の記事を掲載（令和4年9月発行）
- ・広報活動として施設連絡会ブログを更新中
- ・大阪府社会福祉協議会発行「ふくしおおさか」取材（令和5年4月発行）
- ・日本生活協同組合連合会発行「CO・OPnavi」取材（令和5年5月発行）

*令和5年3月31日現在 会員施設数：107施設

(3) 吹田コスモスの会への支援

吹田コスモスの会は認知症介護者家族の会です。令和4年度（2022年度）は、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、会員（介護者）のための交流会の実施や会報誌の発行、関係機関との懇談会、電話相談（毎月第1火曜日午前10時から正午）等の活動を行いました。会員以外にも吹田市報を通して交流会の案内を周知し、みんなの健康展での出張相談など、認知症の理解促進のための活動も行いました。

吹社協は、吹田コスモスの会の事務局として、連絡調整など活動支援を行いました。

開催日	場所	内容
令和4年4月5日（火）	片山公園	観桜会
令和4年5月17日（火）	総合福祉会館	第32回総会、会員相互の交流会
令和4年7月13日（水）	総合福祉会館	会員相互の交流会
令和4年9月11日（日）	メイシアター	みんなの健康展：出張相談
令和4年9月28日（水）	保健センター	会員相互の交流会（市報掲載）
令和4年10月11日（火）	奈良県（薬師寺）	リフレッシュのための郊外デイ
令和4年11月25日（金）	保健センター	会員相互の交流会
令和5年1月17日（火）	千里市民センター	会員相互の交流会
令和5年1月23日（月）	摂津市立地域福祉活動センター	北摂ブロック介護者（家族）の会活動交流会
令和5年3月14日（火）	千里山コミュニティセンター	会員相互の交流会（市報掲載）

(4) 高次脳機能障がい者の支援

高次脳機能障がい者の特徴として、「外見上では分かりにくい」、「外傷性のけがによる若年発症者が多い」、「社会性またはその能力の低下」、「事故や疾患を契機とした突然の発症」などがあります。また、障がいの認知度も低く、周囲の理解が得られにくいため、職場復帰の難しさなどの課題もあり、平成 28 年度（2016 年度）から高次脳機能障がい者の家族交流会を開催しています。

令和 4 年度（2022 年度）は、下記の通り、年 2 回交流会を開催しました。

家族交流会は、実行委員会（市内の障がい福祉施設、医療機関、行政）で企画・運営し、当事者家族が安心して悩みの相談や情報共有できる場として、また地域の理解や啓発につながる機会として取り組みました。

開催状況

開催日	場所	内容
令和 4 年 6 月 25 日（土）	千里山コミュニティセンター	家族交流会 参加者：14 人、実行委員：5 人
令和 5 年 1 月 21 日（土）	アスワーク吹田（勤労者会館）	家族交流会 参加者：22 人、実行委員：5 人

(5) ウクライナ支援金

ウクライナから吹田市に避難して来られた世帯に対して、広く支援金を募り、合計 1,682,645 円のご協力がありました。お預かりした支援金は、避難して来られた 3 世帯に対して、吹田市人権政策室を通じて、令和 5 年 3 月末までに複数回に分けて、全額をお渡しました。

受付期間	支援金合計金額	お渡し金額
令和 4 年 5 月 16 日から 12 月 31 日まで	1,682,645 円	1,682,645 円